

議事要旨(3)国際会議報告

冒頭、関口委員より、ASBJ が 2013 年 9 月に出席した会計基準設定主体国際フォーラム (IFASS 会議)、アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ (AOSSG) 中間会議及び世界会計基準設定主体 (WSS) 会議について、説明資料 [審議事項(3)] に基づき、各会議体の概要、9 月に行われた AOSSG 会議及び WSS 会議の概要に関する説明がなされた。これに続き、紙谷ディレクターより、同説明資料に基づき、9 月に行われた IFASS 会議の概要に関する説明がなされた。

説明及びコメント文案に対する委員からの主な質問や意見と、それらに対する事務局からの回答は次のとおりである。

- ある委員より、今回の IFASS 会議において統合報告が取り挙げられていたが、何か特筆すべき報告があったかとの質問がなされた。これに対し事務局からは、今回の会議においては統合報告に関する一般的な状況説明のみがなされたとの回答があった。
- ある委員より、ある委員より、AOSSG 会議の保険契約のセッションにおいて、将来キャッシュ・フローの変動と割引率の変動をそれぞれ契約上のサービス・マージンと OCI に区分して会計処理する点に関するコメントがあったと伺っており、具体的にはどのような内容のコメントだったか、との質問がなされた。これに対し事務局からは、その点に関してコメントしたのはオーストラリアの会計基準設定主体であり、割引率の変動を会計処理する際に OCI を用いることを懸念しているようであるとの回答がなされた。

以 上